

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23年 12月 27日

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                     |           |               |
|---------|---------------------|-----------|---------------|
| 事業所番号   | 4271401848          |           |               |
| 法人名     | おいしい有限会社            |           |               |
| 事業所名    | グループホームおいしい         |           |               |
| 所在地     | 長崎県雲仙市愛野乙 1161 番地 2 |           |               |
| 自己評価作成日 | 平成 23年 11月 30日      | 評価結果市町受理日 | 平成 24年 1月 25日 |

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

|              |  |
|--------------|--|
| 基本情報リンク先 URL |  |
|--------------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |  |
|-------|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人<br>ローカルネット日本福祉医療評価支援機構           |
| 所在地   | 〒855-801 長崎県島原市高島 2 丁目 7217<br>島原商工会議所 1 階 |
| 訪問調査日 | 平成 23年 12月 21日                             |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 定期受診以外での、月 1 ~ 2 回の外出 ( 外食・見学・展示展の見学 )</li><li>・ 島原半島風船バレー大会参加</li><li>・ 同敷地内にある、デイサービス ( 利用状況可能時 ) 利用。</li><li>・ 秋祭り ( 利用者家族、地域住民、他の施設、他の地域住民が参加、見学 )</li><li>・ 周りが畑で、静かで、自然があって、日当たりいい場所です。</li></ul> |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

|  |
|--|
| 来春で 8 年目を迎える当ホームは、明るく落ち着いた雰囲気のあるホームである。外出支援が特徴のホームで、毎月の外食やドライブ、買い物の外に年数回雲仙の温泉を楽しまれたり、法人内の他の事業所と一緒に行事を行い認知症の理解や啓発活動にも繋がっている。また、介護福祉士等の有資格者も多く勤務されており、専門的な知識の下、支援が行われている。家庭的なより良い関係の継続へ期待の持てるホームである。 |
|--|

## 1 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価     | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |  |
|----------|------|---|--|---|--|
|          |      |   | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 理念に基づく運営 |      |   |  |   |  |
| 1        | 1    | <p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>                    | <p>理念に「想」を揚げ家族的で楽しくをモットーに支援を行っています。</p>  | <p>運営者は理念について常に話をされている。管理者と職員は共有が図られ、日々利用者に関わる中で、具現化されている。</p>  | <p>理念は事業所が目指すサービスの在り方を示すものであり、母体組織の理念そのままではなく自分達の指標となる理念を事業所が独自に作り掲げられる事が望まれる。</p> |
| 2        | 2    | <p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>                    | <p>・敷地内のデイサービス利用・秋祭り参加・地域文化フェスティバル等に参加、展示時に交流を図れる場面を作っている。・地域の小、中学校の福祉体験、職場体験の受け入れ</p>         | <p>ホームの大イベントである秋祭りに地域の人を招待し、交流を図るなど地域との関わりは多い。又、災害時には、地域の避難場所に指定されている。利用者の顔を覚えてもらっており、徘徊時は地域の人声かけもある。</p> |  |
| 3        |      | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>                  | <p>・運営推進委員会・秋祭り・地域の防災訓練に参加・入居者の状況状態を見られたり、質問に答えています。また、自由に施設訪問、見学が出来るように、常に開放しています。</p>        |   |  |
| 4        | 3    | <p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>地域の町内会長・老人会等に参加して頂き、認知症、介護保険、他の施設状況や利用等も行っていきます。</p>  | <p>運営推進会議には苦慮されている面もあるが、地域住民の代表が協力的であり、会議の充実を図りつつ、議事録ももう少し詳しく書きたいとされている。</p>                              |  |
| 5        | 4    | <p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>             | <p>包括支援センターの研修会や講習会等に参加し交流を深めたり、情報収集や意見交換へ繋がったりしている。また、代表が地域ボランティアの参加に加わり、地域状況の情報にも繋がっている。</p> | <p>雲仙市の連絡協議会の研修委員であり市町とは日頃から連絡を取り合い、協力関係が築かれている。又、利用者が市の文化祭に作品を出展されたり、公的扶助の利用等でも関わりは多い。</p>               |  |

|    |   |   |  |   |  |
|----|---|---|--|---|--|
| 6  | 5 | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>施設研修を行う。また、開放的な空間作りを行いながら、周囲からの孤立感を排除している。</p>                            | <p>職員間の連携を始め、隣接する事業所や地域住民による声かけや見守りにより、利用者は自由に過ごされている。定期的な研修により、職員は身体拘束の弊害を認識され、身体拘束をしないケアを実践されている。</p>             |  |
| 7  |   | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>                                      | <p>施設研修を行う。また、事例の検討等も行っている。</p>  |   |  |
| 8  |   | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>                                 | <p>制度に関する理解はしているが、現状対象者なし。</p>   |   |  |
| 9  |   | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>  | <p>説明を正確に行い、納得された上で、サイン、押印を頂いている。</p>  |   |  |
| 10 | 6 | <p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>   | <p>面会時や電話、手紙等で報告。また、運営推進委員会等で意見を聞いたり、面会時に伺ったりして職員会議時に話し合ったしてケアに取り入れています。</p> | <p>意見箱や相談苦情窓口を明示し、傾聴の姿勢を伝えると共に、面会時等を利用し、常に問いかけ、出された意見や要望は、職員間で検討し、運営に反映させている。</p>                                   |  |
| 11 | 7 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>   | <p>会議や職員全員参加の食事会にて、代表者、管理者、職員等の意見交換の場を設けている。</p>                             | <p>申し送りや毎月の会議を利用し、職員の気づきや提案を聞き、運営に反映させている。外のグループホームを見たいという職員の希望があり実現されている。急なシフトの調整にも対応してもらえる事ができ、働きやすい職場となっている。</p> |  |

|                          |   |  |  |  |
|--------------------------|---|--|--|--|
| 12                       | <p><b>就業環境の整備</b></p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>      | <p>介護職員処遇改善給付金支給の為就業規則の変更を行ったり、休暇の申告には、ほぼ対応を行い仕事への意欲へと繋げている。</p>   |  |  |
| 13                       | <p><b>職員を育てる取組み</b></p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>          | <p>職員のスキルアップの為の資格取得や研修への参加等に繋る資金を会社負担で行っている。また、研修内容や資格取得が出来た職員は、他の職員への周知や報告等の体制を整えている。</p>                   |  |  |
| 14                       | <p><b>同業者との交流を通じた向上</b></p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | <p>研修会などに参加し、他の施設職員との交流や、情報交換を図っている。</p>   |  |  |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |   |  |  |  |
| 15                       | <p><b>初期に築く本人との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>        | <p>入居後、本人の状況、状態を見極め、困っている事、不安な事を聞き入れ、声掛けしながら安心出来るように心がけている。また、ご家族からやケアマネ等からの情報提供を参考にしながら、親密な関係作りに心がけている。</p> |  |  |
| 16                       | <p><b>初期に築く家族等との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>                   | <p>入居前や入居後に家族の要望を聞き入れプランに反映させている。新たな要望にも柔軟な姿勢での都度、プランへ取り入れている。</p>   |  |  |

|    |   |  |  |  |  |
|----|---|--|--|--|--|
| 17 |   | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>本人の行動、状況、状態の観察を行い、その後家族との話し合い支援援助へと繋げる。</p>       |  |  |
| 18 |   | <p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>                    | <p>趣味や特技分野を活かし職員と共に楽しむ</p>                           |  |  |
| 19 |   | <p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>     | <p>家族の協力や支援を得ながら一時帰宅、外出を受け入れながら共に協力し合い支援援助へと繋げる。</p> |  |  |
| 20 | 8 | <p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている</p>                 | <p>馴染みの地域への見学、ドライブ、外出や馴染みの公共施設等への外出、行事を行ってまいります。</p> | <p>利用者基本情報に友人や地域との関係を記録し、その人にあった生活を支援されている。冠婚葬祭への参加、年賀状の支援に加え、電話はいつでもかける事ができる。家族や友人への面会は頻繁にあり、少し遠のいている家族へは、面会の呼びかけを行い、関係の継続を支援されている。</p> |  |

|                          |   |  |   |   |  |
|--------------------------|---|--|---|---|--|
| 21                       |   | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | 気の合う入居者同士は隣同士に席を設けたり、孤立しないように、日によって席の移動や状況に応じて対応している。                                       |   |  |
| 22                       |   | 関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退所後の入院時には、ご家族の負担解消を行う（洗濯物、状態、状況確認や説明等の聞き入れ）また、死亡後も一周忌や法事等への出席を行い関係作りや施設行事（秋祭り等）に招待したりしています。 |   |  |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント |   |  |   |   |  |
| 23                       | 9 | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。                       | 外出の希望取り入れたり、ご家族への面会希望等の調整を行ったりしています。  | 構音障害の方がおられるが、声が出るまで待ち、それからゆっくり聞くようにしている。入居前の生活歴は、利用者基本情報と医療カルテに詳細に記録し、職員間での共有も図られている。 |  |
| 24                       |   | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | 入居時に家族から聞き取りを行ったり、本人様から聞き取りを行ったりしています。  |   |  |

|    |    |  |   |  |  |
|----|----|--|---|--|--|
| 25 |    | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>   | <p>個々の状態、状況に応じて、洗濯物たたみやゴミ箱作り、食材のした処理をして頂いたり、個々の有する力等に応じた介護支援、援助を行っています。</p> |  |  |
| 26 | 10 | <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>月一回の会議にて全職員話し合い意見を取り入れている。</p>   | <p>介護計画は、利用者、家族の意向に沿ったものになっている。遠方の家族に書式を送付したところ、介護に対する意向の記入があり、プランに反映することができた。見直しを3ヶ月ごとに設定し、全職員で意見を出し合い、現状に即した介護計画を作成している。</p> |  |
| 27 |    | <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>                        | <p>毎日個々のカルテに記載「午前・午後」気づき等は申し送り帳に記載し情報を共有している。</p>                           |  |  |
| 28 |    | <p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>               | <p>急な外出・外泊の希望等にも柔軟に希望に添えるように支援している。</p>                                     |  |  |
| 29 |    | <p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>                         | <p>地域文化展出品</p>  |  |  |
| 30 | 11 | <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>                     | <p>入居前のかかりつけ医院に通院出来るように医師と看護師等の連携努めている。</p>                                 | <p>本人や家族が希望するかかりつけ医の受診支援で遠方の含め通院介助はホームで行われている。複数の医療機関と提携され適切な受診ができる様に支援されている。職員間では、医療カルテで共有が図られ、夜勤者へは看護師によるアドバイスの記入がある。</p>    |  |

|    |    |  |  |   |   |
|----|----|--|--|---|---|
| 31 |    | <p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>                      | <p>看護師が出勤日に報告・相談を行い、対応、支援、援助に繋がっている。また、緊急時等でも、電話連絡を行い指示や訪問等を行っている。</p> |   |   |
| 32 |    | <p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院時の洗濯物交換、入院状況の把握等、また、病院関係者との連携、情報交換や相談を行っている。</p>                  |   |   |
| 33 | 12 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>重度化や終末期に向けた方針はあります。現在は緩和ケアを行い、家族、医師、看護師と連携しながら行っている。</p>            | <p>看取りの指針を作成し、同意を得ている。医療機関との連携は図られており、本人や家族の意向を踏まえ、医療関係者とホームが連携をとりながら支援していく方針である。</p>   |   |
| 34 |    | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>   | <p>救命救急の資格獲得を行ったり、講習を行ったりしています。</p>                                    |   |   |
| 35 | 13 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>   | <p>地域や自治体の協力体制を行っている。</p>  | <p>消防署指導の下、年2回地域住民の参加を得、昼夜想定火災による避難訓練を実施すると共にホーム内を確認してもらわれた。地震、風水害については自主訓練をされた。又、ホームで地域消防団による訓練の予定があり、更にホームを知ってもらえる機会になると思われる。</p> | <p>水や食料等の備蓄はあるが、非常持ち出し品（個人情報ファイル）が整っていない。いつ発生するか分からない災害に備え、個人情報ファイルの整備と寒さをしのげる物の準備も合わせて期待したい。</p> |



| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |    |   |   |  |  |
|-----------------------|----|---|---|--|--|
| 36                    | 14 | 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                | トイレ誘導、居室からの洗濯物、汚染物等には他の入居者に分からないようにしたり、また、声掛け等にも配慮を行いながら行っている。  | 接遇の研修に参加され、誇りやプライバシーを損ねる様な対応にならない様にお互い注意しあいながら日々努められている。又、プライバシーに関する記録物は、事務所にて保管されている。 |  |
| 37                    |    | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 普段の会議や行事の中から希望等をさりげなく聞きだしている。   |  |  |
| 38                    |    | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 各入居者が休みたい場所や過ごしたい場所で過ごされています。また、外出されたい方は、自由に外出されて過ごされています。また、敷地内のデイサービスへ行きたい方は、デイの職員と連携を行いながら対応しています。 |  |  |
| 39                    |    | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 各自で服装を選択して頂いています。また、組み合わせ等に関して、職員のアドバイスをを行い支援しています。   |  |  |
| 40                    | 15 | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 職員に栄養士常勤している為、一日のカロリーを計算した食事の提供。職員も必ず入居者と同じ食事を一緒に食べる。入居者様の力に応じた下ごしらえの準備をして頂いている。                      | 職員に栄養士の配置があり、バランスの取れた食事を利用者個々に合せた食事形態で提供されている。家族の一員として、一緒に食材を買いに行ったり、下処理等の手伝いもある。      |  |

|    |    |  |   |  |  |
|----|----|--|---|--|--|
| 41 |    | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>            | <p>摂取量は毎日全て記入。また、緩和ケアの入居者様に関しては一日の摂取カロリーを計算。また、定期受診時に医師へ報告を行うようにしている。</p>                         |  |  |
| 42 |    | <p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>                    | <p>朝、昼、夕は必ず食後の口腔ケアを行う。また、義歯の管理や口腔状態、入居者の状態に応じた支援を行っています。</p>                                      |  |  |
| 43 | 16 | <p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>     | <p>毎日、排泄状況をチェック。排泄パターンの把握。尿意が若干ある方は、声掛けや時間の把握を行い支援しています。</p>                                      | <p>基本的に昼間は、トイレでの排泄を支援されている。排泄パターンの把握により、パットの使用が少なくなったり、おむつから布パンツへと改善に結びついた事例もある。又、おむつやパット等の使用は、常に見直しが行われている。</p> |  |
| 44 |    | <p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>                     | <p>毎日、排便状況のチェック。排便パターンの把握。便秘時は、バナナや牛乳等や運動（散歩や体操）を取り入れている。また、医師との連携を行いながら排便の調整を行っています。</p>         |  |  |
| 45 | 17 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p> | <p>週3～4回の入浴支援。しかし、毎日入浴可能な状態にしている為、個々に応じて支援している。</p>   | <p>基本的には1日おきの入浴であるが、希望があれば、毎日でも可能である。本人の状態により、2人で介助することもあり、入浴不足が生じない様にチェック表を付け、清潔保持に努めている。</p>                   |  |
| 46 |    | <p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>                      | <p>居室やホールの畳での休息を個々に応じて行っている。また、夜間のテレビ視聴希望者には、視聴終了後の就寝へ繋げたり、状況に応じて話し相手になり、リラックスした状態での休息へ繋げている。</p> |  |  |

|    |    |  |   |  |  |
|----|----|--|---|--|--|
| 47 |    | <p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>   | <p>服薬変更時には処方説明書に赤で記入し、内容の確認、副作用の確認また、辞書で再度調べ、目的、副作用、用法や用量の確認を行い、辞書に付箋で印を付け、全職員が理解するようにしている。また、服薬準備を行って職員は、名前と日にちを服薬カルテに記入するようにしている。</p> |  |  |
| 48 |    | <p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>  | <p>個々の力に合わせて、洗濯物たたみや洗濯干し、食材のしたごそらの準備や雑巾縫い。ゴミ箱作り、レクリエーション</p>  |  |  |
| 49 | 18 | <p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>                     | <p>散歩、月2～3回の外出。また職員と一緒に買い物への付き添う。家族と外出が出来るように家族と協力しています。また、敷地内のデイサービスの利用者の方と一緒に、なし狩りやぶどう狩りへ参加したり、行事に参加したりして、地域の利用者様との外出に繋がっています。</p>    | <p>本人に合せた移動の配慮をしながら、日常的な外出支援に限らず、本人の行きたい場所への外出支援を、家族と協力しながら実現している。</p>         |  |
| 50 |    | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>  | <p>自己管理をされている入居者様は、家族と話し合いを行い、本人様の責任で行って頂く様にしています。また、施設管理に関しては、買い物や外出時に職員管理のもと支払いやおつりの支援、援助動作を取り入れながら行っています。</p>                        |  |  |
| 51 |    | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>   | <p>手紙や電話は、自由に書かれたり、掛けたりされています。また、住所の代筆や番号のプッシュ動作等は援助、支援しながら行っています。</p>  |  |  |
| 52 | 19 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>廊下や玄関には入居者様の写真や展示品を展示したり、観葉植物や花をホールやトイレ、玄関等に置いて季節感を出したりしています。</p>  | <p>共用部分は広く、寛げる場所は充分確保されており、落ち着いた雰囲気の中で、利用者はゆっくり過ごされている。温度調節をされ、不快な音や臭いもない。</p> |  |

|    |   |   |   |  |
|----|---|---|---|--|
| 53 | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>ホールにたくさんの椅子を配置、また、畳の間に座ってテレビや雑談出来るようにしています。</p>  |   |  |
| 54 | 20  | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>入居前に使用して頂いている、タンス、衣装ケース、机、テレビ等を持ち込んで頂いています。また、本人様の状況に応じて家族と話し合いを持ち、位牌を持ち込んで頂いている入居者様のいます。</p>                        | <p>それぞれ思いおもいの物を持ち込まれ、その人らしく生活されている様が窺える。転倒の恐れのある利用者が、安全に休めるように、ベッドに配慮された居室もある。</p> |
| 55 |   | <p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>   | <p>施設内、バリアフリー対応。車椅子、歩行器段階に応じてリハビリや操作動作の訓練等を行ったり、自力歩行者にも、下肢筋力の安定に努める為にも、日頃から、声掛けを行い、足上げや階段の上がり下がりや階段のリハビリを行ったりしています。</p> |  |

アウトカム項目

|    |   |                |
|----|---|----------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。<br>(参考項目：23,24,25) | 1, ほぼ全ての利用者の   |
|    |   | 2, 利用者の2/3くらいの |
|    |   | 3, 利用者の1/3くらいの |
|    |   | 4, ほとんど掴んでいない  |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。<br>(参考項目：18,38)        | 1, 毎日ある        |
|    |   | 2, 数日に1回程度ある   |
|    |   | 3, たまにある       |
|    |   | 4, ほとんどない      |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。<br>(参考項目：38)             | 1, ほぼ全ての利用者が   |
|    |   | 2, 利用者の2/3くらいが |
|    |   | 3, 利用者の1/3くらいが |
|    |   | 4, ほとんどいない     |

|    |   |                |
|----|---|----------------|
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目：36,37)                   | 1, ほぼ全ての利用者が   |
|    |   | 2, 利用者の2/3くらいが |
|    |   | 3, 利用者の1/3くらいが |
|    |   | 4, ほとんどいない     |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目：49)                                 | 1, ほぼ全ての利用者が   |
|    |   | 2, 利用者の2/3くらいが |
|    |   | 3, 利用者の1/3くらいが |
|    |   | 4, ほとんどいない     |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。<br>(参考項目：30,31)                       | 1, ほぼ全ての利用者が   |
|    |   | 2, 利用者の2/3くらいが |
|    |   | 3, 利用者の1/3くらいが |
|    |   | 4, ほとんどいない     |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。<br>(参考項目：28)                 | 1, ほぼ全ての利用者が   |
|    |   | 2, 利用者の2/3くらいが |
|    |   | 3, 利用者の1/3くらいが |
|    |   | 4, ほとんどいない     |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。<br>(参考項目：9,10,19) | 1, ほぼ全ての家族と    |
|    |   | 2, 家族の2/3くらいと  |
|    |   | 3, 家族の1/3くらいと  |
|    |   | 4, ほとんどできていない  |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。<br>(参考項目：9,10,19)                 | 1, ほぼ毎日のように    |
|    |   | 2, 数日に1回程度ある   |
|    |   | 3, たまに         |
|    |   | 4, ほとんどない      |

|    |  |                |
|----|--|----------------|
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。<br>(参考項目：4) | 1, 大いに増えている    |
|    |  | 2, 少しずつ増えている   |
|    |  | 3, あまり増えていない   |
|    |  | 4, 全くいない       |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。<br>(参考項目：11,12)  | 1, ほぼ全ての職員が    |
|    |  | 2, 職員の2/3くらいが  |
|    |  | 3, 職員の1/3くらいが  |
|    |  | 4, ほとんどいない     |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。   | 1, ほぼ全ての利用者が   |
|    |  | 2, 利用者の2/3くらいが |
|    |  | 3, 利用者の1/3くらいが |
|    |  | 4, ほとんどいない     |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。                                     | 1, ほぼ全ての家族等が   |
|    |  | 2, 家族等の2/3くらいが |
|    |  | 3, 家族等の1/3くらいが |
|    |  | 4, ほとんどいない     |